

美術館アートコア
令和8年度
企画展

現代美術のシリーズ企画
新進気鋭の彫刻家の展示

「アンパンマン」の作者
やなせたかしの原画展

写真界の福井の巨匠
土田ヒロミの写真展

あかりや光を楽しむ
暮らし方を提案する展覧会

アートドキュメント2026
久保寛子展
青の太陽 緑の月
4/25 (土) - 6/14 (日)



「やさしい手」2018年
鉄、ブルーシート
H390×W289×D150cm

やなせたかし展 (仮称)
7/18 (土) - 9/27 (日)



「詩とメルヘン」1996年6月号表紙絵
「ボクターがすこしめくれて華いされ」
©やなせたかし
(公財) やなせたかし記念アンパンマン
ミュージアム振興財団蔵

アートドキュメント2026
土田ヒロミ写真展 (仮称)
10/24 (土) - 12/13 (日)



〈ヒロシマ・コレクション〉
《看護師の制服 寄贈者：大井松恵
広島平和記念資料館所蔵》2018年

akari image - あかり'ど'
2027年 1/16 (土) - 3/7 (日)



fabric Light - kumo -
長根寛 × 竹内由美

令和8年度
友の会 (一般) / メセナ会 (法人) 会員募集中

展覧会の招待券のほか、陶芸・ガラス・竹細工体験の割引や、レストランのドリンクチケットなど、楽しい特典がいっぱいあります。法人向けのメセナ会は、企業PRにつながる広告として活用できます。この機会に、ぜひご入会ください。

友の会 (一般) お得に
金津創作の森を楽しめます!

メセナ会 (法人) 金津創作の森から
御社を広くPRします!

金津創作の森フォトコンテスト テーマ 「光」・・・私が「光」を感じた瞬間



各受賞作品の結果および講評は、当館ホームページにて公開しています。

最優秀賞

「時が降り積もる場所」加藤 英行 (福井県)



審査の様子

福井県の認知度の向上や日常の身近なことからアートの発見のきっかけづくりや写真文化の新たな層へのアプローチを目的に、「金津創作の森フォトコンテスト」を開催しました。応募者数は77名、作品点数は114点となりました。

第42回 FUKUI サムホール美術展

観覧無料

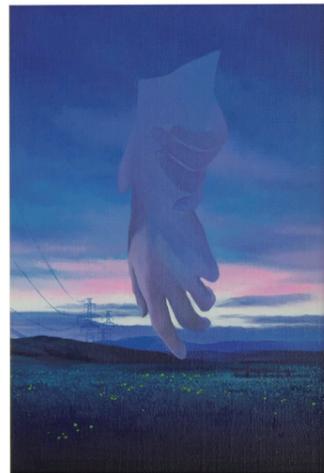
42回目を迎えた本展は、全国から約350点の応募がありました。特別審査員にNHK Eテレの人気番組「びじゅチューン!」でもおなじみの井上涼さん(左から3番目)をお招きし、新たな切り口で審査が展開されました。展覧会では、大賞作品をはじめ、入賞・入選あわせて約120点が展示されます。はがき2枚分ほどの小さな世界に広がる豊かな世界をお楽しみください。

主催：FBC、(公財) 金津創作の森財団

日時/3月20日(金・祝)~4月5日(日)
※23日(月)、30日(月)休館
10:00~17:00 (最終入場 16:30)
会場/美術館アートコア ミュージアム-1



審査の様子



大賞作品「ふれて(しまう)」長沢 拓実 (石川県)

真っ赤ないちごに夢中!

◆2月3日(火) いちごハウス農楽里



熱戦! あわら市かるた大会

◆2月8日(日) 美松



「第11回あわら市かるた大会」が開催され、46人の選手が出場し、白熱した試合が繰り広げられました。大会は、初心者・有段者・無段者の部がトーナメント方式で行われ、幼稚園児から社会人まで幅広い年代の参加者が真剣勝負に挑みました。有段者2・3段の部では、あわら市在住の金津高校2年藤井 悠生さんが優勝し、会場は最後まで熱気に包まれていました。

地域企業が届ける温かな贈り物

◆2月19日(木) 金津小学校



(株)金津村田製作所社員会は、地域貢献活動の一環として、金津小学校にサッカーボール10個とソファ2台を寄贈しました。従業員家庭で排出された空き缶を回収・売却した利益をもとに、地域の子どもの健やかな成長と学びを支援する取り組みとして実施しているものです。平田校長先生は「子どもたちは昼休みに毎日サッカーをしているので、新しいボールに大喜びすると思います。」と笑顔で感謝の言葉を述べていました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した「あわらの話題」をお届けします!



芦原こども園の園児を招いて、いちごハウスの開園式が行われました。あわら農楽ファームが運営する同施設は、北陸の冬でもいちご摘みが楽しめる体験型施設で、今年で15回目の開園となります。

子どもたちは五感で感じながら、真っ赤に実ったいちごを自分の手で摘み取り、香りや甘さ、収穫の楽しさを体験しました。いちごは高設栽培のため、子どもたちの目の高さで無理なく摘み取ることができ、食育にもつながる学びの時間となりました。

親子で楽しむ冬のデジタル体験

◆2月15日(日) アフレア



「冬のデジタル祭り」が開催され、親子でデジタルに親しめる多彩な体験が行われました。会場では、デジタルツールを使ってオリジナルのシールづくりに挑戦するコーナーをはじめ、大画面で楽しむ「太鼓の達人」コーナーも人気を集め、子どもたちは迫力ある操作を楽しんでいました。多くの親子でにぎわい、デジタルを身近に感じられるイベントとなりました。

北陸初! バン型給水車で災害対応力強化

◆2月19日(木) 市役所



被災地での飲料水や生活水の確保に役立てるため、北陸初となるバンタイプ車両一体型給水車を配備しました。今回配備した給水車は小回りが利き、狭い道路でも機動的に活動できることから、災害時の対応力向上が期待されています。タンク容量は1,000リットルで、飲料水の確保や応急的な生活支援などに幅広く活用していく予定です。市では、今後も災害に強いまちづくりを進め、市民の安全・安心につながる支援体制の充実を図っていきます。

